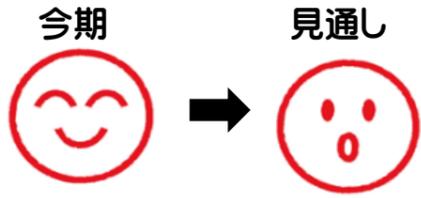


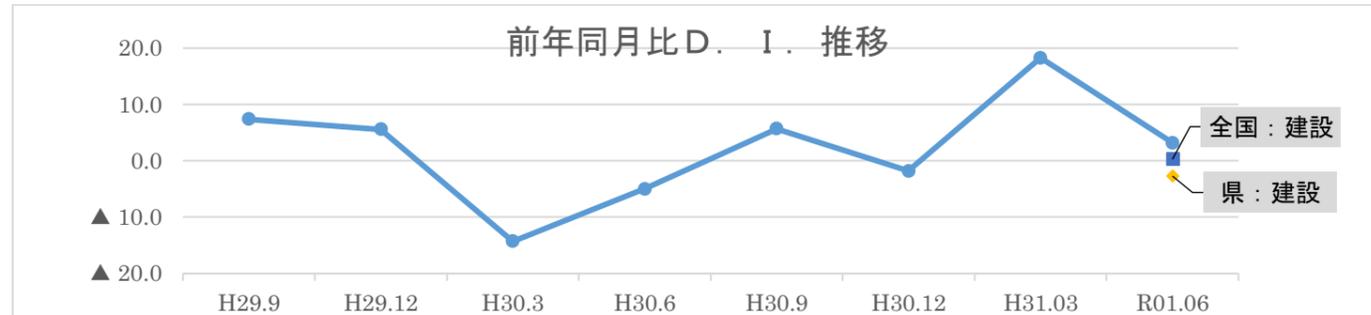
建設業

回答率:98.3%(61/62)

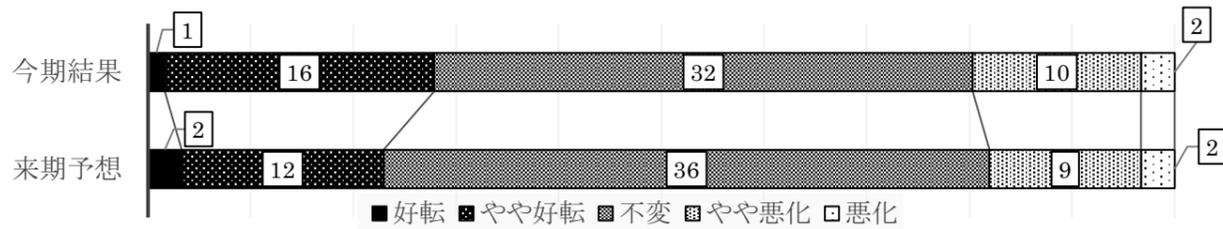


■丹波市の景況推移

受注は一定数あるものの、依然として人手不足が深刻であり、思うような業績に繋げることが出来ていない。



■丹波市の景気動向



【今期の景況】

リフォームを中心に受注が増え、特に年配の方からの注文が多い。一方新築案件では、30代までの方からの注文が多く、年代によって差が見られた。受注は一定数あるものの、依然として人手不足が深刻であり、思うような業績に繋げることが出来ていない。

【来期の景況予想】

人手不足は、今後も解消される見込みは立たず、また、働き方改革のスタートにより、今後ますます残業が抑制され、経営者にとっては生産効率を上げる必要に迫られている。その手段としては、積極的な設備投資による作業・仕事の効率化を進めなければならない。

■全国の景気動向

一部で消費税引き上げ前の駆け込みが増加しているものの、選挙やG20サミット開催後の状況が不透明なため、全体としては様子見傾向がある。また、前期に引き続き人手不足や原材料の高騰が続いており、期待していた程度の景況感の改善は見られなかった。

■県下の景気動向

建設土木関連工事は、公共工事の受注増で前年を上回る企業がいくつか見られる。住宅着工数は、低迷が続き、消費が停滞しており、消費税増税の需要増に期待している。

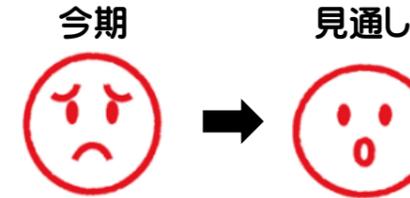
■地区ごとの回答(前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	5	3	4	3	0	16	26.2%
不変	3	15	2	5	2	4	31	50.8%
悪い (悪化+やや悪化)	0	2	2	4	2	4	14	23.0%
合計	4	22	7	13	7	8	61	100.0%

製造業

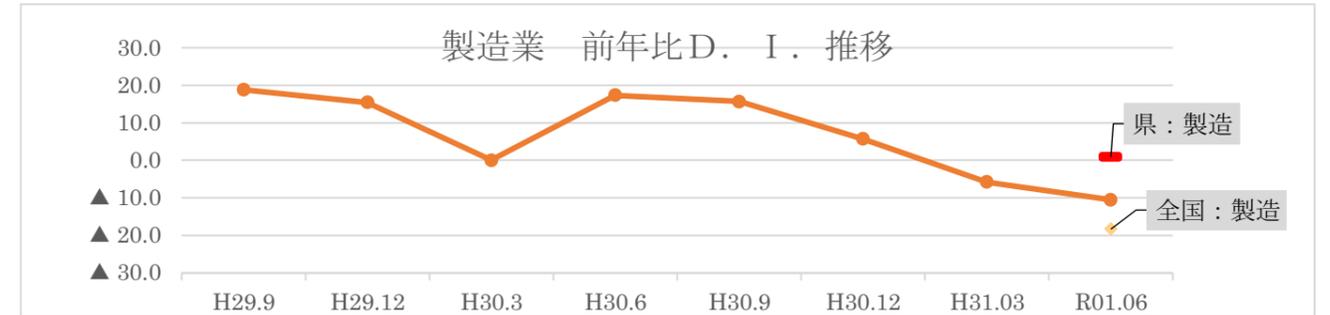
回答率:100%(57/57)

2019年4月~6月期調査

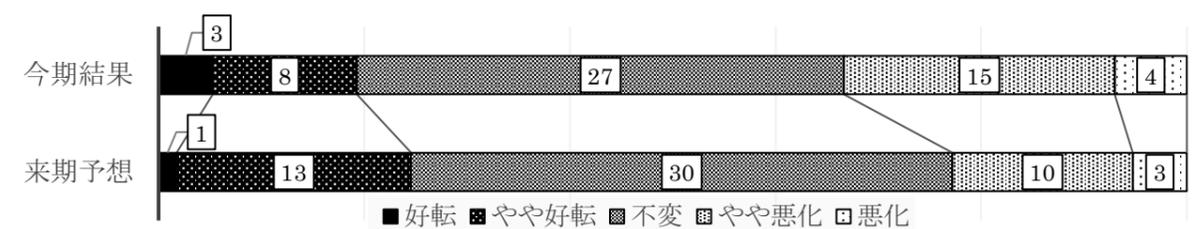


■丹波市の景況推移

人手不足を解消するため、設備投資等を検討する事業所が出てきているものの、製造コストが高騰し、十分な利益の確保が難しくなっていることが課題である。



■丹波市の景気動向



【今期の景況】

受注はあるものの依然として人手不足が深刻であり、生産調整を行っている事業所やコストをかけて派遣社員の導入を行っているが、経費が増加し収益は伸び悩んでいる。また、食料品製造関係では小豆を中心に仕入れ価格の高騰が続いており、収益を圧迫している。

【来期の景況予想】

今後も引き続き人手不足感は続くと考えられ、省力化設備を導入できる事業者や働き方改革を上手く乗り切れる事業者については売上増を見込める。一方で、日中・日韓関係、米中貿易摩擦の影響により、景気の減速を懸念する声が多い。

■全国の景気動向

建材・家具、窯業・土石製品製造は、公共工事の発注遅れなどが響いている。出版・印刷は、原材料価格の上昇に用紙不足も重なり、化学品製造では、半導体やスマホの需要減退を受けて景況感は悪化している。木製家具製造は、ネット関係の新規販売先の受注が増加している。

■県下の景気動向

自社のホームページを見直すことやふるさと納税に商品を出すことで新たな受注につながっている業種もある。製造業全体としては、前年同月を若干上回るころが多くみられたが、徐々に動きが弱まってきていると感じている事業所が多い。

■地区ごとの回答(前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	2	1	1	6	1	12	21.0%
不変	5	8	1	6	5	2	27	47.4%
悪い (悪化+やや悪化)	1	3	5	0	6	3	18	31.6%
合計	7	13	7	7	17	6	57	100.0%

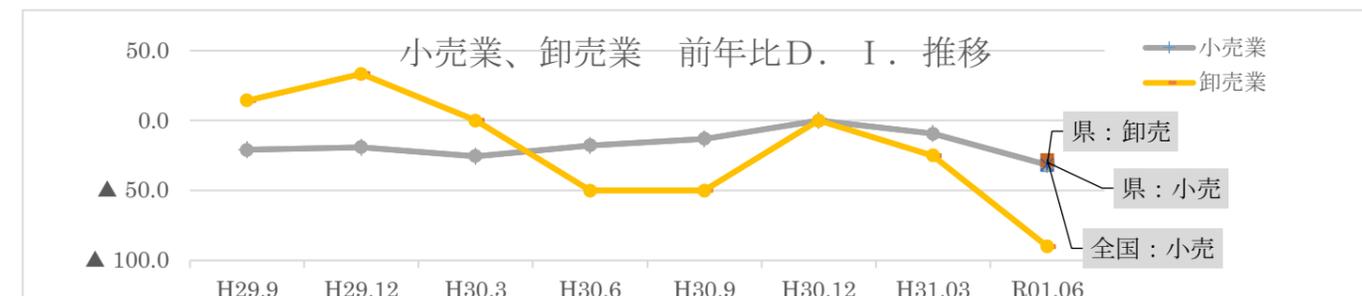
小売、卸売業

回答率:94.5%(70/74)

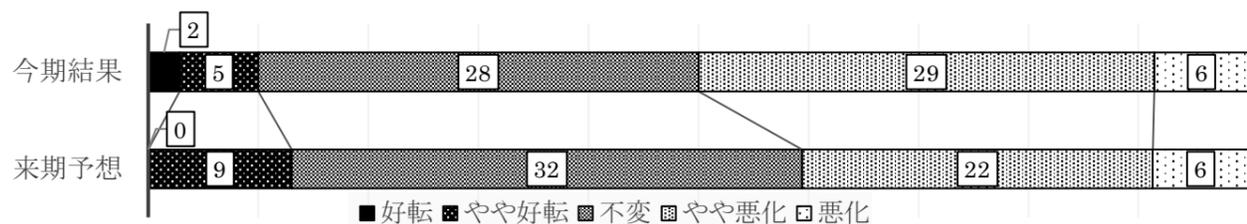


■丹波市の景況推移

小規模小売店では、キャッシュレスや電子マネー対応に苦慮している事業所もあり、また、運用開始後に手数料による収益の減少など不安を感じている事業所も多い。



■丹波市の景気動向



【今期の景況】

仕入価格の高騰により、厳しい状況である。特に配送費用の高騰などが大きく影響しており、上昇が落ち着く気配は未だ見られず、景気の厳しい状況が続いている。

【来期の景況予想】

お盆の帰省に向けて一部の店舗では来店客数の増加を見込む声もあるが、10月の増税やキャッシュレス決済などへの対応により、事業者への負担が今後より大きくなり、情報の取捨選択が求められ、事業者にとって不安定な時期が続くと予想される。

■全国の景気動向

家電・情報機器、自動車小売、家具類小売が大きく改善した。消費税率引き上げを控えて一部で需要拡大がみられ、耐久財に関連する業種の景況感は改善した。他方、ガソリンスタンドや燃料小売では、仕入れ価格が抑えられており、プラス材料となった。

■県下の景気動向

例年に比べて気温があまり上がらなかった影響により、衣料品小売業は夏物が動かずエアコンも昨年ほどは売れていない。一方、7月下旬以降は暑さが続くことが予想され、飲料品関係は大きな売上の増加を予想している。

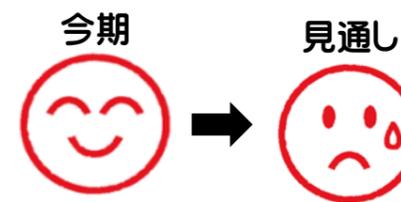
■地区ごとの回答(前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	3	5	0	3	0	1	12	17.1%
不変	6	7	1	1	2	1	18	25.7%
悪い (悪化+やや悪化)	4	13	4	6	9	4	40	57.2%
合計	13	25	5	10	11	6	70	100.0%

飲食・宿泊、サービス、その他業種

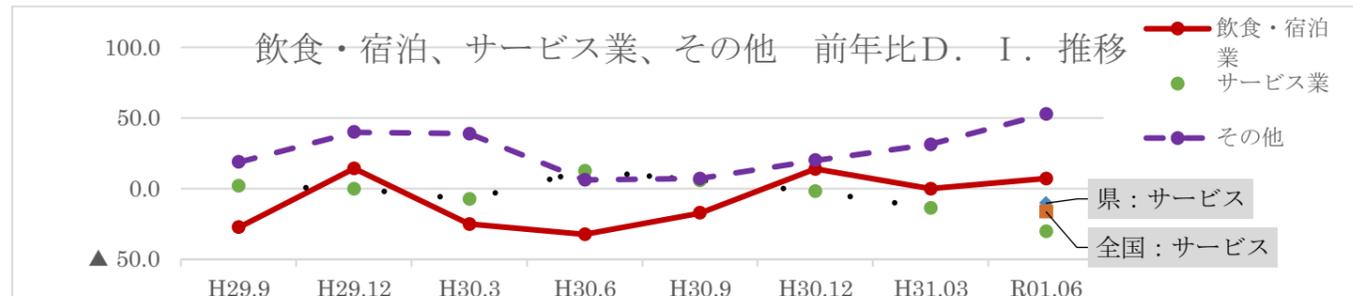
回答率:94.3%(101/107)

2019年4月~6月期調査

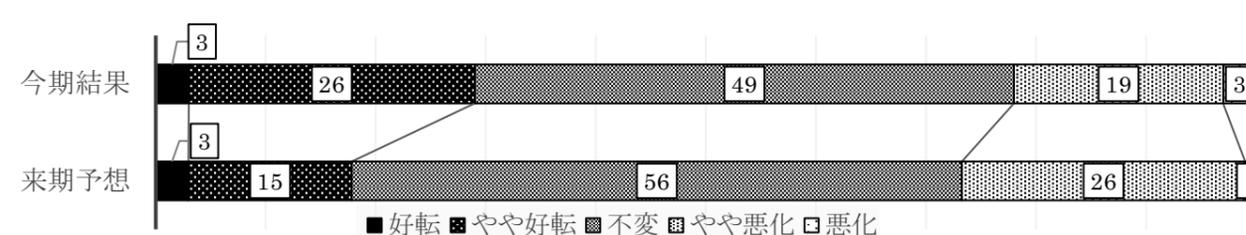


■丹波市の景況推移

10月からの消費増税に伴う軽減税率の導入やポイント還元事業の開始に対して、顧客の動向が不透明であり、今後の対応に苦慮している事業所が多い。



■丹波市の景気動向



【今期の景況】

運輸業界において、物量は増加傾向にあるものの、運転手などの人材確保がここ数年の課題であり、賃上げや働き方の見直しを図る企業も多く見られた。うまく運賃を確保している事業所については増収増益を達成しているところもある。

【来期の景況予想】

飲食関連では、暑さや高齢者の免許返納による行動範囲の縮小などの影響から来店数の減少が見られ、今後も減少が加速すると見込まれる。そのため、キャッシュレス決済や軽減税率への対応などを機にテイクアウトを導入するなど、独自のサービスを検討する必要がある。

■全国の景気動向

ソフトウェア関連では、消費増税に向けた軽減税率システム改修受注が増加している。また、警備関連では、東京五輪や大阪万博など国際的イベントの影響から、建設工事による需要増が続くと予想される。一方で、全国でも人手不足は深刻であり、受注の見送りや生産調整が様々な業種で見られる。

■県下の景気動向

前月と同水準だった「サービス」は、飲食・介護関連で人手不足による機会損失を訴え、更にキャッシュレス決済や軽減税率の対応準備も遅れるなど先行きに不安が残る。一方、ホテルなどは外国人及び県外からの観光客による好影響が見られるなど明暗が分かれた。

■地区ごとの回答(前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	8	8	2	2	4	4	28	27.7%
不変	11	11	4	5	3	5	39	38.6%
悪い (悪化+やや悪化)	7	11	2	4	6	4	34	33.7%
合計	26	30	8	11	13	13	101	100.0%